

令和6年
2月

北文化小劇場 催し物ご案内

開催日	催し物名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
10日 (土)	KITA JAZZ! 北区制80周年記念事業 KITA JAZZ! Bigband Festival	14:00	16:00	北文化小劇場 052-910-3366	無料(要整理券) ※申込が定員に達したため 受付を終了いたしました。
18日 (日)	芸どころ名古屋公演 転輪太鼓和太鼓コンサート 「響喜乱打」 チケット 取扱い	14:00	16:00	転輪太鼓事務局 0568-97-3556 北文化小劇場 052-910-3366	全自由席 一般 3,000円 友の会(前売のみ) 2,500円 障がい者等 2,500円 高校生以下 1,500円 ※ひざ上鑑賞の未就学児無料 ※当日券は+500円 Web販売

チケット取扱い …北文化小劇場にてチケット取扱い

- * 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。
- * 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

北文化小劇場 施設利用のご案内

演奏会や舞踊会など幅広い公演にご利用いただけますので、お気軽にお問合せください。



ホール



練習室

ホール見学&各種相談承ります!

- ◆客席数 297席(椅子席237・柵席60)
- ◆舞台 間口14.5m 高さ6.0m 奥行8.2m
- ◆楽屋 2室
- ◆練習室 1室(45㎡)
- ◆駐車場 37台(図書館共用)

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]



お問い合わせ
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス
名古屋市北区志賀町4丁目60-31
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

総合建設業
株式会社 原田工務店
052-901-3210

広告募集中!
掲載料1枠5,000円/年
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366

北文化小劇場だより 2024年 2月

The Polar Star Jazz Orchestra 7th Concert



2024.3.9 Start 14:00

Ticket <全自由席>

一般 1,000円
友の会・障がい者等 900円

Program

- ◆ Groovin' Hard
- ◆ Wirrowcrest
- ◆ Julian
- ◆ Wind Machine 他

あけぼの 白木
0120-758-216

KAWAI
NAGOYA
052-962-3939

清瀬 金虎
052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ
魚鉄
052-911-1211



華房流華の会 家元
華房 小真先生

【端唄】第3回「端唄って何？其の二」

今回の2月号執筆中、元旦より能登半島を震源とする大地震が起き、甚大な被害が広がり1週間以上経った今も尚復旧は困難を極めています。被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。斯様な事態に私自身は無力感に苛まれますが、この連載記事を通して令和6年元旦からの現状を記しておかなければと思ひ至り、誌面をおかりいたしました。

端唄は、江戸時代の詠み人知らずの流行歌であり三味線小歌曲ですが、これが流行する中、江戸時代末期に端唄を母体として小唄・歌沢の姉妹が誕生。今回は、小唄が生まれた背景と時代を簡単にご紹介します。

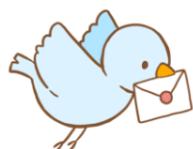
小唄第一号の曲「散るは浮き」が誕生したのは、この度の大地震のように、1855年前後に日本各地で連発した震度6強の安政大地震による混乱の真っ只中でした。各地で甚大な被害をもたらす中、この小唄を世に出した「お葉」は、当時16歳。父の清元延寿大夫を1855年11月に亡くし、先行きが見えない世の中で、一門を率いていかなければならない長女お葉の胸の内はいかばかりであったかと察して余りあります。幕末から明治へ移る激動の時代で思想や価値観が大きく変わっていった時代です。

このような時世でありながら時代を超えて歌い継がれる「小唄」というジャンルを生み出したお葉の才能・勇気・エネルギーに敬服いたす思いです。小唄第一号「散るは浮き」は、亡父と縁の深い松江藩松平不昧公の和歌をお葉が改作し、作曲。他の三味線音楽は撥を使用して演奏する中、楽曲を早間で更に軽妙洒脱な音色にして「つめ弾き」という小唄の特徴的で画期的な奏法を取り入れました。

小唄が誕生してから約170年。多くの時代の荒波をくぐり抜け、一つの曲が人から人へ歌われ続けてきたことを思うと、この先もまた端唄・小唄が、時代を超えて歌い継がれていく工夫をしなければと改めて感じております。

職員コラム～揚幕の隙間から～

第10回 「ダディ・ロング・レッグズ～足ながおじさんより～」



演者がひとりいて、観客がひとりいれば、演劇は成立する。有名な脚本家・演出家の方がインタビューでそう話していたのを読んだことがあります。ここ数年、三密を避けるため、大人数が参加する舞台がまったく開催できない中で、「演者と観客の最低二人の人間がいれば、演劇が作れる」という事実は、コロナ禍において、舞台作品を途絶えさせないための希望の光だったのではないかと思います。実際、高橋一生さんや佐藤隆太さんが一人芝居作品を上演していたり、一人芝居作品を集めたオムニバス公演なんかも開催されていたりしました。

それでは、ミュージカルにおいてはどうか。グランドミュージカルのように大規模な作品は、名前のある役だけでも10数名、さらにアンサンブルの方もたくさん出演しており、大迫力なところが魅力の一つです。私も以前はそのイメージしかなく、ミュージカルなのに小人数というのは想像もつきませんでした。しかし、私はたった二人のミュージカルに出会ってしまったのです。たったの二人です。初めてチラシを見た時に、主演のお二人の名前しかなかったので不思議だったのですが、それでもまだアンサンブルの方は出演しているのだと思っていました。しかし、本編が始まると、本当にたった二人だけで話が進んでいきました。

印象的だったのは、舞台セットがほとんど変化しないことです。この作品は「足ながおじさん」が基になっているので、基本的に主人公であるジルーシャから、足ながおじさんであるジャーヴィスへの手紙形式で進んでいきます。手紙を書いたり、読み上げたりしているだけなので、絵的にはあまり変化がないのですが、二人ともの歌声が、本当に聞きやすく、感情がダイレクトに伝わってくるため、繊細だけれどもエネルギーという非常に見応えのあるミュージカルでした。舞台セットの変化といえば、小道具として使用している鞆が、机になったり、椅子になったりする程度で、キャストの演技だけで状況と場所が切り替わっていくのがしっかりと伝わってきました。裏方のスタッフが舞台上に出てくることもなかったため、たった二人という状況がより強調されたように感じました。この作品を通して、ミュージカルという形式であっても、少ない人数で作品が作れるというのは非常に大きな発見になりました。11月には3人でのミュージカル作品が上演されていましたが、1人芝居ミュージカルという文言も見つけました。作品として成り立つためには、出演者の歌の実力が高いということが大前提になりますが、ミュージカル層がどんどん厚くなっている昨今の風潮を思うと、これからは様々な少人数ミュージカルが生まれてくるのが期待できて、とても楽しみです！

快適以上を、世の中へ。



広告募集中！

掲載料1枠50,000円／年
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366

芸どころ名古屋公演 転輪太鼓
和太鼓コンサート「響喜乱打」

和太鼓グループ「転輪太鼓」による和太鼓公演。
公募により集まった小中学生もパフォーマンスに参加します！

- 日時 令和6年2月18日(日) 14:00開演(13:30開場)
- 会場 北文化小劇場ホール
- 料金 一般 3,000円 / 高校生以下 1,500円
友の会・障がい者等 2,500円
※ひざ上鑑賞の未就学児は無料
- 【窓口販売】北文化小劇場、転輪太鼓事務局
【電話申込】転輪太鼓事務局 (☎0568-97-3556)
【Web販売】TENRIN ONLINE SHOP
- 出演 國分入道光雲
転輪太鼓 獅鬪～SEED～
転輪太鼓 風雲児風組
ワークショップ参加者 初陣組



Web販売



The Polar Star Jazz Orchestra 7th Concert

市民参加のビッグバンドによるコンサート。
今回はゲストを迎え、さらにパワーアップした演奏を披露します！

- 日時 令和6年3月9日(土) 14:00開演(13:30開場)
- 会場 北文化小劇場ホール
- 料金 一般 1,000円
友の会・障がい者等 900円
(市内の各区文化小劇場等にて販売中)
※未就学児入場不可
- 出演 The Polar Star Jazz Orchestra
MELRAW(ゲスト)
山崎貴大(音楽監督)



The Polar Star Jazz Orchestraとは

2015年に結成された市民参加のビッグバンド。
世代を超えて集まったメンバーが、ビッグバンドをきっかけとして交流を深めながら、北区を拠点に活動している。

バンド名は『北区の星になる』という意気込みから、北の星“北極星(The Polar Star)”にちなみネーミングされた。

